

5. 保健学科の教育課程と授業について

本学科の教育課程は、教養教育の授業科目（以下「教養教育科目」という。）及び専門教育の授業科目（以下「専門教育科目」という。）からなります。

教養教育科目の履修等に関することは、徳島大学教養教育履修規則で定められており、専門教育科目の履修等に関することは、徳島大学医学部規則で定められています。

(1) 卒業要件

卒業するためには、次の単位を修得しなければなりません。

また、修業年限は4年であり、在学期間は修業年限の2倍（8年）を超えることはできません。

○ 看護学専攻

教養教育科目		31単位以上
専門教育科目	必修科目	91単位
	選択科目	6単位以上
合計		128単位以上

○ 放射線技術科学専攻

教養教育科目		37単位以上
専門教育科目	必修科目	96単位
	選択科目	3単位以上
合計		136単位以上

○ 検査技術科学専攻

教養教育科目		35単位以上
専門教育科目	必修科目	100単位
	選択科目	3単位以上
合計		138単位以上

(2) 国家試験受験資格

各専攻の卒業生には、次の国家試験の受験資格が与えられます。

看護学専攻	看護師国家試験、※保健師国家試験
放射線技術科学専攻	診療放射線技師国家試験
検査技術科学専攻	臨床検査技師国家試験

※選択制により受験資格を取得可能です。

3年次で実施する保健師選抜試験に合格することが必要となります。

(3) 取得可能な免許・資格

看護学専攻及び検査技術科学専攻では、必要科目を履修することにより、それぞれ、次の免許状及び受験資格が取得できます。

看護学専攻	養護教諭一種免許状 養護教諭二種免許状（※）
検査技術科学専攻	健康食品管理士認定試験の受験資格 遺伝子分析科学認定士（初級）

※保健師免許と教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目を単位修得することにより、卒業後個人申請により取得できます。詳しくは担当教員に相談してください。

(4) 履修要件（令和4年度入学用）

(1) 看護学専攻

区 分		授 業 科 目		卒業要件単位数		
				必 修	選 択	
教 養 教 育 科 目	教 養 科 目 群	歴史と文化		4		
		人間と生命		4		
		生活と社会		4		
		自然と技術		4		
	創 成 科 学 科 目 群	グローバル科目			2	
		イノベーション科目		2		
		地域科学科目				
		医療基盤科目				
	基 礎 科 目 群	S I H道場		1		
		情報科学		2		
	外 国 語 科 目 群	英 語	基盤英語		2	
			主題別英語		2	
			発信型英語		2	
初修外国語		ドイツ語入門		2		
		フランス語入門				
		中国語入門				
計				31		
専 科 教 育 目	学科共通科目		14	3		
	専門科目		73	3		
	卒業研究		4			
	計		91	6		

注) 教養教育科目の履修については、「教養教育履修の手引」で必ず確認して下さい。

(2) 放射線技術科学専攻

区 分		授 業 科 目		卒業要件単位数	
				必 修	選 択
教 養 教 育 科 目	教 養 科 目 群	歴史と文化		2	*印の科目から4単位の履修(各科目2単位を上限とする。)
		人間と生命		4	
		生活と社会		2	
		自然と技術		4	
	創 成 科 学 科 目 群	グローバル科目*		2	
		イノベーション科目			
		地域科学科目*			
	基 礎 科 目 群	医療基盤科目*		2	
		S I H道場			
		基礎数学			
		基礎物理学			
		基礎化学			
		基礎生物学			
	外 国 語 科 目 群	英 語	基盤英語	2	
			主題別英語	2	
			発信型英語	2	
		初修外国語	ドイツ語入門	2	
			フランス語入門		
			中国語入門		
計				37	
専 門 教 育 科 目	学科共通科目		13	3	
	専門科目		79		
	卒業研究		4		
	計		96		

注1) 教養教育科目の履修については、「教養教育履修の手引」で必ず確認して下さい。

注2) 保健学科放射線技術科学専攻が教養教育科目(医療基盤科目)として開講する授業が1科目あります。
下表を参照してください。

区 分	授業題目
創成科学科目群 医療基盤科目	放射線医学入門

(3) 検査技術科学専攻

区 分		授 業 科 目		卒業要件単位数	
				必 修	選 択
教 養 教 育 科 目	教 養 科 目 群	歴史と文化		2	4
		人間と生命		2	
		生活と社会		2	
		自然と技術		2	
		ウェルネス総合演習			
	創 成 科 学 科 目 群	グローバル科目		2	2
		イノベーション科目		2	
		地域科学科目			
		医療基盤科目		2	
	基 礎 科 目 群	S I H道場		1	35
		基礎化学		2	
		基礎生物学		2	
		情報科学		2	
	外 国 語 科 目 群	英 語	基盤英語		
主題別英語			2		
発信型英語			2		
初修外国語		ドイツ語入門		2	
		フランス語入門			
		中国語入門			
計					
専 門 教 育 科 目	学科共通科目		13	3	
	専門科目		83		
	卒業研究		4		
	計		100	3	

注 1) 教養教育科目の履修については、「教養教育履修の手引」で必ず確認して下さい。

注 2) 保健学科検査技術科学専攻が教養教育科目（医療基盤科目）として開講する授業が1科目あります。下表を参照してください。

区 分	授業題目
創成科学科目群 医療基盤科目	臨床検査学入門

区分	授 業 科 目 名 等	単 位 数		授 業 時間数	授 業 を 行 う 年 次				備 考
		必 修	選 択		1 年	2 年	3 年	4 年	
専 門 科 目	母性看護学概論	2		30		30			(実習)
	母性援助論	2		30			30		
	小児看護学概論	2		30		30			
	小児援助論	2		30			30		
	母性看護学実習	2		90			90		
	小児看護学実習	2		90			90		
	*子育て支援論		1	15			15		
	*子どものメンタルヘルス		1	15			15		
	精神看護学概論	2		30		30			(実習)
	精神看護援助論	2		30			30		
	精神看護学実習	2		90			90		
	在宅看護学概論	2		30		30			(実習)
	在宅看護援助論	2		30			30		
	在宅看護学実習	2		90			90		
	地域看護学概論Ⅰ(地域で暮らす人々の理解)	1		15	15				(実習)
	地域看護学概論Ⅱ(地域看護・公衆衛生)	1		15		15			
	*公衆衛生看護学概論		2	30		30			
	*公衆衛生看護援助論		3	45			45		
	*公衆衛生看護学実習		5	225				225	
	*ケアマネジメント		2	30		30			
*健康教育方法論		1	15				15		
*産業保健看護論		1	15			15			
*保健医療福祉行政論		4	60			60			
*公衆衛生看護管理論		1	15				15		
健康管理論	1		15				15		
*疫学		2	30		30				
*ケアシステム論		1	15		15				
※*学校保健論		1	15			15			
※養護概説Ⅰ(養護教諭の役割と専門性)		1	15		15				
※養護概説Ⅱ(養護活動の展開)		1	15		15				
※健康相談活動		1	15			15			
原書講読Ⅰ(原書の読解)	1		15		15			(実習)	
原書講読Ⅱ(研究論文)		1	15				15		
#†家族看護学		1	15				15		
†看護管理学		1	15				15		
†看護教育学		1	15				15		
看護研究	1		15				15		
看護倫理	1		15				15		
#国際看護学概論		1	15	15					
#国際看護活動論		1	15		15				
災害看護	1		15				15		
看護導入実習	2		90			90			
看護統合実習	2		90				90		
小 計		73	36	2,565	195	735	1,170	465	
卒業研究	卒業研究	4		180				180	
小 計		4		180				180	
合 計		91	44	3,120	390	855	1,230	645	

- (注) 1. 選択科目の6単位は、学科共通科目の中から3単位、専門科目の†印の科目から1単位以上を含む3単位を履修する。
2. 保健師国家試験の受験資格を取得しようとする者は、選択科目のうち*印の科目すべて及び#印の科目から3単位以上を履修し、かつ、注1に規定する要件を満たさなければならない。ただし、注1の選択科目に医学統計学演習を含めることはできない。
3. 養護教諭一種免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、選択科目のうち※の科目をすべて履修し、かつ、注1に規定する要件を満たさなければならない。

卒業要件

教 養 教 育 科 目		3 1 単 位 以 上
専 門 教 育 科 目	必 修 科 目	9 1 単 位
	選 択 科 目	6 単 位 以 上
	計	9 7 単 位 以 上
合 計		1 2 8 単 位 以 上

区分	授 業 科 目 名 等	単 位 数		授 業 時間数	授業を行う年次				備考	
		必修	選択		1年	2年	3年	4年		
専 門 科 目	診療画像学Ⅱ（各種造影・超音波・眼底撮影検査）	1		15			15		(実習) (演習) (実習) (実習) (実習) (実習) (実習) (実習) (実習) (実習) (実習) (実習) (実習) (実習) (実習) (実習) (実習) (実習) (実習) (実習)	
	C T画像技術学	1		15			15			
	M R I技術学	1		15			15			
	核医学技術学	2		30			30			
	核医学技術学実習	1		30			30			
	放射線治療技術学	2		30			30			
	放射線治療技術学演習	1		30			30			
	放射線腫瘍学	2		30			30			
	関係法規	1		15			15			
	放射線管理学	2		30			30			
	放射線管理学実習	1		30			30			
	実践医療安全管理学	1		15			15			
	実践臨床画像学	1		15			15			
	実践臨床技能実習	1		30			30			
	実践医療安全管理学実習	2		90			90			
	診療画像学臨床実習	6		270				270		
	核医学検査技術学臨床実習	2		90				90		
	放射線治療技術学臨床実習	2		90				90		
	専 攻 共 通	臨床医学概論	1		15	15				
		画像病態学	1		15					15
保健科学		1		15		15				
基礎医科学実習		1		30		30				
放射線物理学Ⅰ（基礎）		2		30	30					
放射化学Ⅰ（基礎）		1		15	15					
放射化学実習		1		30		30				
応用数学Ⅰ（代数学・解析学）		1		30	30					
応用数学Ⅱ（フーリエ解析・偏微分方程式）		1		15		15				
電気電子工学		2		30	30					
電気電子工学実習		1		30		30				
医用工学		2		45		45				
医用工学実習		1		30		30				
専門外国語			1	15			15			
データ科学入門	1		30	30						
医用情報処理学演習	1		30		30					
国際医療活動論		1	15	15						
小 計		79	2	1,875	165	600	645	465		
卒業研究	卒業研究	4		180			45	135		
小 計		4		180			45	135		
合 計		96	11	2,430	270	750	795	615		

(注) 選択科目の3単位は、学科共通科目及び専門科目の中から3単位を履修する。

卒業要件

教養教育科目		37単位以上
専門教育科目	必修科目	96単位
	選択科目	3単位以上
	計	99単位以上
合 計		136単位以上

区分	授 業 科 目 名 等	単 位 数		授 業 時間数	授業を行う年次				備考
		必修	選択		1年	2年	3年	4年	
専 門 科 目	臨床微生物学Ⅰ(感染症の病原体とその検査・細菌)	1		15		15			(実習)
	臨床微生物学Ⅱ(感染症の病原体とその検査・真菌とウイルス)	1		15			15		
	微生物学実習	5		150			90	60	
	寄生虫学	1		15			15		
	寄生虫学実習	1		30			30		
	臨床血液学Ⅰ(血液学的検査・止血学的検査・染色体検査)	1		15		15			
	臨床血液学Ⅱ(細胞成分と出血・止血の基礎)	1		15		15			
	臨床血液学実習	3		90			60	30	
	免疫学Ⅱ(輸血医療と移植免疫)	1		15		15			
	免疫検査学	1		15			15		
	輸血検査学	1		15			15		
	免疫検査学実習	3		90			60	30	
	輸血検査学実習	2		60			30	30	
	分子遺伝学		1	15		15			
	遺伝学		1	15			15		
	遺伝子検査学Ⅰ(遺伝子検査の基礎)	1		15		15			
	遺伝子検査学Ⅱ(遺伝子検査の応用)	1		15				15	
	検査機器総論	2		30		30			
	医用工学概論	1		30	30				
	医用工学実習	1		30		30			
	臨床医学総論	2		30			30		
	臨床病理学総論	2		30			10	20	
	臨床検査総論Ⅰ(臨床検査・尿検査・採血)	1		15		15			
	臨床検査総論Ⅱ(尿沈渣・便・体液・喀痰検査)	1		30			30		
	臨床検査総論実習	2		60		30		30	
	臨床検査総論管理学	2		30			30		
	医療法規	1		15				15	
	臨床技能実習	1		30			30		
電子計算機概論	1		30		30				
電子計算機概論演習	1		30		30				
専門外国語	2		30			30			
病態栄養と臨床検査	1		15				15		
※健康食品学		2	30			30			
※健康食品法規		1	15			15			
国際医療活動論		1	15	15					
統合臨床検査学	1		15				15		
小 計		83	6	1,965	75	540	940	410	
卒業研究	卒業研究	4		180				180	
小 計		4		180				180	
合 計		100	15	2,520	195	750	985	590	

(注) 1. 選択科目の3単位は、学科共通科目及び専門科目の中から3単位を履修する。

2. 健康食品管理士認定試験の受験資格を取得しようとする者は、選択科目のうち※印の科目をすべて履修する。

卒業要件

教 養 教 育 科 目		35単位以上
専 門 教 育 科 目	必修科目	100単位
	選択科目	3単位以上
	計	103単位以上
合 計		138単位以上

(6) 進級要件及び先修条件

保健学科学学生への進級要件及び先修条件は、次のとおりです。

(授業科目の先修条件)

履修に必要な条件として、あらかじめ成績評価が合格点に達していなければならない授業科目を定める

第2年次への進級要件

	看護学専攻	放射線技術科学専攻	検査技術科学専攻
教養教育科目	※25単位以上	※27単位以上	※25単位以上
専門教育科目	第1年次開講のすべての必修科目		

※については表1の中より取得する。

第3年次への進級要件

	看護学専攻	放射線技術科学専攻	検査技術科学専攻
教養教育科目	※31単位以上	※37単位以上	※35単位以上
専門教育科目	第2年次開講のすべての必修科目		

※については表1の中より第1年次における取得単位を含めてとする。

注)ただし、看護学専攻については、第2年次後期に開設される基礎看護学実習Ⅱ(看護過程の展開)を受講するためには、第2年次後期までに履修しなければならない基礎看護学に区分される全ての科目の成績評価が合格点に達していなければならない。

第4年次への進級要件(3年次編入学生を除く)

	看護学専攻	放射線技術科学専攻	検査技術科学専攻
専門教育科目	第3年次開講のすべての必修科目		

注)ただし、看護学専攻については、第3年次後期から始まる臨地実習を受講するため、第3年次前期終了までに履修しなければならない科目の成績評価が合格点に達していなければならない。

注)ただし、放射線技術科学専攻については、第3年次後期に行われる臨床技能実習及び卒業研究の科目を受講するためには、第3年次前期のすべての必修科目の成績評価が合格点に達していなければならない。

第1年次又は第2年次の留年学生が上級学年の科目の履修を希望する場合は、当該年次の科目の履修を優先した上で、上級学年の専門教育担当教員に受講申請し、承認を得た科目について履修を認める。この場合において、留年学生が2学年上の進級要件を満たせば、第3年次又は第4年次への進級を認める。

表1

○ 看護学専攻

区 分	授 業 科 目	卒業要件単位数	
		必 修	選 択
教 養 科 目 群	歴史と文化	4	
	人間と生命	4	
	生活と社会	4	
	自然と技術	4	
創 成 科 学 科 目 群	グローバル科目	2	2
	イノベーション科目		
	地域科学科目		
	医療基盤科目		
基 礎 科 目 群	S I H道場	1	
	情報科学	2	
外 国 語 科 目 群	英語	※6	
	初修外国語	2	
合 計		3 1	

※うち3単位は2年次に開講される。

○ 放射線技術科学専攻

区 分	授 業 科 目	卒 業 要 件 単 位 数	
		必 修	選 択
教 養 科 目 群	歴史と文化	2	
	人間と生命	4	
	生活と社会	2	
	自然と技術	4	
創 成 科 学 科 目 群	グローバル科目*	2	*印の科目から4単位の履修(各科目2単位を上限とする。)
	イノベーション科目		
	地域科学科目*		
	医療基盤科目*		
基 礎 科 目 群	S I H道場	1	
	基礎数学	2	
	基礎物理学	2	
	基礎化学	2	
	基礎生物学	2	
	情報科学	2	
外 国 語 科 目 群	英語	※6	
	初修外国語	2	
合 計		3 7	

※うち3単位は2年次に開講される。

○ 検査技術科学専攻

区 分	授 業 科 目	卒 業 要 件 単 位 数	
		必 修	選 択
教 養 科 目 群	歴史と文化	2	4
	人間と生命	2	
	生活と社会	2	
	自然と技術	2	
	ウェルネス総合演習		
創 成 科 学 科 目 群	グローバル科目	2	2
	イノベーション科目	2	
	地域科学科目		
	医療基盤科目	2	
基 礎 科 目 群	S I H道場	1	
	基礎化学	2	
	基礎生物学	2	
	情報科学	2	
外 国 語 科 目 群	英語	※6	
	初修外国語	2	
合 計		3 5	

※うち3単位は2年次に開講される。

6. 養護教諭一種免許状取得に関する単位修得要領（保健学科 看護学専攻）

(1) 基礎資格

学士の学位を有すること。

(2) 所要単位数

科目区分	教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	養護に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目	大学が独自に設定する科目
単位数	8	28	8	6	7	7

単位数：必要最低単位数を示す。

(3) 法令で規定された単位数

① 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

免許法施行規則に定める科目		左記に対応する開設授業科目（教養教育科目）	
科目	単位数	授業科目 [授業題目]	単位数
日本国憲法	2	生活と社会 [日本国憲法]	2
体育	2	ウェルネス総合演習	2
外国語コミュニケーション	2	英語	2
		初修外国語	2
情報機器の操作	2	情報科学 [情報科学入門]	2

② 養護に関する科目

免許法施行規則に定める科目	左記に対応する開設授業科目	
科目	授業科目	単位数
衛生学・公衆衛生学 (予防医学を含む。)	○衛生学	1
	○保健学概論	1
	○健康管理論	1
	○病理学Ⅰ（基礎）	1
	産業保健看護論	1
	保健医療福祉行政論	4
	疫学	2
学校保健	○学校保健論	1
	⊖地域看護学概論Ⅰ（地域で暮らす人々の理解）	1
	○地域看護学概論Ⅱ（地域看護・公衆衛生）	1
	疾病論Ⅶ（小児疾患） リスクマネジメント	1
養護概説	○養護概説Ⅰ（養護教諭の役割と専門性）	1
	○養護概説Ⅱ（養護活動の展開）	1
健康相談活動の理論・健康相談活動の方法	○健康相談活動	1
	○人間関係論	1
	子どものメンタルヘルス	1
	ヘルスアセスメント	1

免許法施行規則に定める科目	左記に対応する開設授業科目	
科 目	授 業 科 目	単位数
栄養学（食品学を含む。）	○生化学Ⅰ（生体分子の構造と機能）	1
	○栄養学	1
解剖学・生理学	○解剖生理学Ⅰ（基礎知識・消化器・呼吸器）	1
	○解剖生理学Ⅱ（循環器・血液・腎臓）	1
	解剖生理学Ⅲ（脳神経・感覚器・自律神経・内分泌）	1
	解剖生理学Ⅳ（骨・筋肉・免疫・生殖・老化）	1
「微生物学，免疫学，薬理概論」	○薬理学	1
	疾病論Ⅱ（感染症・循環器疾患・婦人疾患）	1
	○疾病論Ⅲ（呼吸器疾患・自己免疫疾患・腎臓疾患）	1
	免疫学Ⅰ（臨床免疫学）	1
精神保健	○精神保健	1
	○精神看護学概論	2
看護学（臨床実習及び救急処置を含む。）	○看護学概論	2
	看護理論	1
	看護技術Ⅰ（療養生活・環境）	1
	看護技術Ⅱ（安全安楽と回復の促進）	2
	看護技術Ⅲ（診療の補助）	1
	基礎看護学実習Ⅰ（療養環境の理解）	1
	基礎看護学実習Ⅱ（看護過程の展開）	2
	看護統合実習	2
	成人看護学概論	2
	成人援助論Ⅰ（急性期）	2
	成人援助論Ⅱ（慢性期）	2
	成人看護学実習Ⅰ（急性期）	2
	成人看護学実習Ⅱ（慢性期）	4
	母性看護学概論	2
	母性援助論	2
	母性看護学実習	2
	小児看護学概論	2
	小児援助論	2
	小児看護学実習	2
	精神看護援助論	2
	在宅看護学概論	2
	在宅看護援助論	2
	在宅看護学実習	2
公衆衛生看護学概論	2	
公衆衛生看護援助論	3	
○医療安全管理学	1	

③ 教育の基礎的理解に関する科目

道徳，総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導，教育相談等に関する科目

教育実践に関する科目

免許法施行規則に定める科目		左記に対応する開設授業科目	
科 目	各科目に含める必要事項	授 業 科 目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育学概論	2
	・教職の意義及び教員の役割 ・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教師論	2
	・教育に関する社会的，制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育の制度と経営	2
	・幼児，児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	学習・言語心理学	2
		発達心理学	2
	・特別の支援を必要とする幼児，児童及び生徒に対する理解	特別支援教育概論	2
・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	2	
道徳，総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導，教育相談等に関する科目	・道徳，総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容	道徳教育	2
		総合的な学習の時間の指導法	1
		特別活動論	2
	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育方法学	2
	・生徒指導の理論及び方法	生徒指導論	2
・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	2	
教育実践に関する科目	・養護実習	養護実習	4
		養護実習事前事後指導	1
	・教職実践演習	教職実践演習（養護教諭）	2

(4) 履修上の注意

- ① 「養護に関する科目」の○印は，すべて履修すること。
- ② 「養護に関する科目」の「看護学（臨床実習及び救急処置を含む。）」については，「看護学概論」及び「医療安全管理学」を含み，合計10単位以上を修得すること。
- ③ 「教育の基礎的理解に関する科目」，「道徳，総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導，教育相談等に関する科目」及び「教育実践に関する科目」として開設されている授業科目は，すべて履修すること。
- ④ 「大学が独自に設定する科目」の所要単位は，「養護に関する科目」として開設されている授業科目から選択履修し，修得すること。

(5) 養護実習の履修資格

養護実習は第4年次に行う。

履修資格は次のとおり。

- ① 「養護実習」を履修する前年度までに，「養護に関する科目」のうち「養護概説Ⅰ（養護教諭の役割と専門性）」，「養護概説Ⅱ（養護活動の展開）」，「健康相談活動」，「医療安全管理学」の4単位，「教育の基礎的理解に関する科目」のうち8単位，「道徳，総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導，教育相談等に関する科目」のうち6単位を修得していること。
- ② 養護実習事前指導を履修していること。

附 則

- 1 この要領は，令和4年4月1日から施行し，令和4年度入学生から適用する。
- 2 令和3年度以前に入学した者並びに令和4年及び令和5年度に3年次編入した者については，改正後の規定にかかわらず，なお従前の例による。